

令和7年5月15日発行

予算審査特別委員長報告 2-3P
一般質問 4-10P
議会をPick-Up! 11P
議案の審議結果 12-13P
政務活動費執行状況報告 13P

春を感じる

(写真：松代高校写真部)

令和7年度一般会計当初予算(骨格予算)を可決

322億5,000万円 前年度対比△25億9,000万円(△7.4%)

3月定例会では、予算審査特別委員会を設置し、3つの分科会に分かれ、令和7年度の予算を様々な視点から審査を重ねました。3月21日の議会最終日には、委員長から審査結果が報告され、討論を経て、原案どおり可決しました。ここでは、予算審査特別委員長の審査報告(全文)をお知らせします。

予算審査 特別委員長報告

令和7年度予算審査特別委員会に付託されました、議案第37号から議案第46号までの、各会計予算、合わせて計10件の審査結果は、原案可決であります。

予算審査特別委員会、正副主査会議において、特に分科会から出された意見、要望について何点か申し上げます。市長、並びに行政当局におかれましては、市政運営に反映されますよう、強く要望するものであります。

一般会計

〔歳入〕

市の持続的な発展のためには、自主財源の拡充が不可欠と考えます。今後も様々な施策を駆使し、人口増加と農林水産業や商業などの活性化を促し、継続



予算審査特別委員長
福崎 哲也 議員

することにより、税収の増加という産物を得て、市民生活の安定や福祉の拡充、地域の活性化につなげていただきたい。そして次代の子ども達に魅力ある十日町市を残すために、目指すべき指標に向かって、全庁一体となった取り組みを期待します。

〔歳出〕

骨格予算のため、令和7年度予算編成に対する委員会からの提言内容について、予算化されていない事業が多くあることから、今後の肉付け予算の編成に当たっては、提言内容を十分に検討されることを望みます。

●総務費

ふるさと納税については、適切なターゲットに向けた効果的なアプローチを行い、新たな返礼品の開拓やクラウドファンディング型の活用など、さらなる寄附の増加に向けた方向性を確立してほしい。

また、2027年度まで延長される見通しとなった企業版ふるさと納税においても、十日町



第1分科会(3月13日)

市の産業や観光、文化、歴史を応援する企業に対して積極的に働きかけていただきたい。

●民生費

3年に一度の民生委員改選が行われますが、1期又は任期途中で退任される方が増えておりますので、長期にわたり委員として活躍できるよう対策支援および充実した補助を望みます。

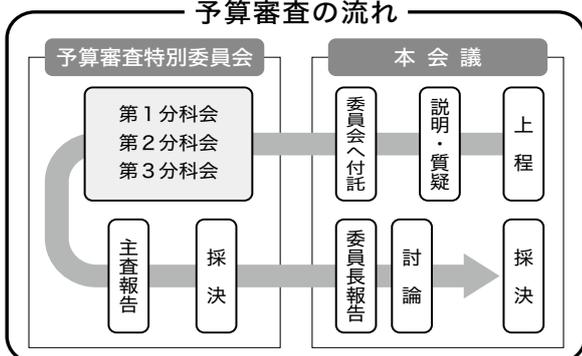
●衛生費

精神疾患を抱える人が年々増加しています。心の病は自分だけでなく、家族や周囲の方々にも影響を与えることがありますので、早期解決の支援ができるよう、相談体制の強化および周知の徹底に努めていただくよう要望します。

●土木費

消雪パイプは今や市民の冬を

予算審査の流れ



令和7年度予算の詳細は、市ホームページや市報4月10日号をご覧ください。

※「骨格予算」とは？

首長選挙などを控えた年度に、義務的経費など必要最低限の経費を中心に編成する予算のことです。一般的には、選挙後に首長の意向を反映させた補正予算を編成することが多く、これを肉付け予算と呼びます。

●教育費
十日町市内の屋内外の体育施設の多くが、建設後20年〜40年が経過し、老朽化が進んでいきます。市民が安全かつ快適に利用



第2分科会（3月14日）

守るための大切な設備となっているため、老朽化した設備の修繕を計画的に行っていたり、これを望みます。

できるように、優先順位を付けた中で計画的に改築および改修を進めていただきたい。

また、夏季における大会では競技者の熱中症防止など、競技者の安全確保に向けた取り組みが急務となっております。大きな大会誘致や合宿誘致に課題が生じている現状があることから、早急な冷房設置を望みます。

国民健康保険特別会計

国民健康保険税の収納率が高いことを評価します。所得に対する負担割合が、低所得者に対して重いものとなっている現状の改善に努めていただきたい。

介護保険特別会計

介護予防事業について、実態に即した計画となるよう効果的



第3分科会（3月17日）



予算審査特別委員会正副主査会議の様子（3月19日）

な取り組みを行っていただきたい。また、市民から求められるような魅力的な介護予防事業の展開を望みます。

企業会計

人口減少により水道の需要が落ち込み、厳しい経営状況は続きますが、ライフラインの確保のため、長期的な視点で経営の合理化に努めるとともに、老朽化・耐震化対策を着実に進められることを望みます。

市長選挙後、新規事業や投資的事業などの「政策的経費」については、速やかに十分な検討を行い、補正予算として議会に提出される予定です。

新年度予算に対する 討 論



詳細は、3月定例会最終日の録画中継をご覧ください。



▼反対

市民の暮らしをどう守るか

初めての骨格予算は義務的経費4700万円の微増、一方、児童福祉や社会福祉等の扶助費は減額、投資的経費は19億6000万円、59%の減額です。こうした骨格予算で市民の暮らしが守られるのか。

【個々の課題について】

●地域計画で農業をどう守る
この計画が示している実態は基幹的農業従事者・個人経営体が当市の農業を支えています。これ以上農業に拘わる人を減らさない施策の展開を求めます。

●地域は活性化したのか

大地の芸術祭総事業費は94億4200万円。4ステージの建設費は総額53億9000万円。巨費を投資した事業の検証・総括を求めます。

▼賛成

令和7年度予算案に賛成

今回の予算は、4月に首長選挙があることから、当市初の骨格予算編成の手法をとっています。この点については他の自治体でも行っていることから問題ないと考えます。減額された25億9000万円は、来期の肉付けとして期待するところでは、

- 学校給食費の値上げは白紙に。
- 学区再編は保護者や地域との合意を最優先にすべきです。
- 国保などの保険税は公平であつてこそ福祉施策です。
- 福祉水道(簡水)は生命の源

(鈴木和雄議員)

予算は多くの科目でマイナス予算となっていますが、市民の日常生活や年度当初より必要と思われる事業については、しっかりと予算計上されています。また、歳入のふるさと納税寄附金は控えめな予算計上と感じますが、委託手数料が不要の自主サイト運営の着手など、攻める姿勢も感じられます。さらに観光面では、インバウンド受け入れ強化のために専門人材の配置が決定しており、観光地としての魅力が増すことが期待されます。これらのことから、令和7年度予算に賛成します。

(鈴木祐一議員)

ココが聞きたい! 一般質問

一般質問は、議員個人が問題意識を市政に投げかけ、市の見解を直接求めることができる唯一の機会です。今回は、13人が私たちの生活に関わることについて質問をしました。

質問議員	質問事項	ページ
大嶋由紀子	市長の進退!! 健康増進の取り組みについて伺います!!	4
鈴木祐一	新型コロナ感染症、民間の起業・創業、雪まつりについて	5
中林寛暁	明石の湯、リニューアル前後の検証	5
星名大輔	国際化の推進について	6
山家悠平	JR東日本信濃川発電所水利権更新と中学校再編について	6
小嶋武夫	十日町市の将来について	7
滝沢貞親	関口市政四期十六年三事業の当初目的とその成果について	7

質問議員	質問事項	ページ
嶋村真友子	こどもまんなか社会をめざして	8
水落静子	女性農業者の活躍、集落協定、消雪対策について	8
富井春美	新たな中学校統合の進め方について	9
高橋俊一	各自主防災組織での運営と高齢者世帯等への支援について	9
滝沢 繁	松代病院無床診療所化は撤回を望む	10
鈴木和雄	人口減少に負けない持続可能な地域づくりに向けて	10



市長の進退!! 健康増進の取り組みについて伺います!!

大嶋由紀子 議員

質問 骨格予算を出す前に進退を表明するのが筋道と言えると思います。進退を表明した上で、政策方針を盛り込んだ骨格予算を提出することが、市民への説明責任を果たす上でも重要だと考えませんでしたか。

答弁 次期市長選に出馬しない場合は、骨格予算を編成するのが適切だと考えます。ただ、引退する市長で骨格予算を提出しない例もあります。出馬が決まっていれば、通常の予算を編成し、新年度の方針を示すのが一般的です。しかし今回は、3月初旬の時点で決断できるか定かでないため、骨格予算を編成するのが適切だと判断しました。この判断には論理的な矛盾はなく、むしろ責任ある対応であると考えています。ご理解いただきたいと思います。

質問 健康増進の取り組みには地域資源の活用が大切です。温泉利用が健康づくりにもたらす総合的効果についてのエビデンスもあります。温浴施設利用や広間での交流の意味を活かし、健康増進に取り組む施策を伺います。

答弁 当市には複数の温浴施設があり、市民が集う地域資源の1つと捉えると、市民の健康にプラスの効果をもたらす

ことが期待されます。高齢者が趣味やスポーツを通じて集う場では、やりがいや地域のつながりが生まれ、健康づくりに寄与することが知られています。これは、コミュニケーションを通じて安心感や生きがいを見出すことにより得られるものであり、温浴施設も住民が集う場として、健康増進や介護予防に役立つと考えています。また、近隣の友人とお茶飲み会の会なども健康に良い影響を与えようという研究結果もあります。様々な地域資源を活用し、健康づくりや介護予防につなげていきたいと考えています。

昔から温泉には…

- 1 体を休める「休養」
- 2 健康を保つ「保養」
- 3 病気を治療する「療養」

という「3つの養」がある

参照：「日本温泉協会 温泉名人」より





新型コロナウイルス感染症、民間の起業・創業、雪まつりについて

鈴木祐一 議員



質問 今期を振り返り、新型コロナウイルス対策の記録を発表していますが、市民の健康と防災面にどのような課題と影響を残したか。また、未知のウイルスに対しての市長の総括をお尋ねします。

答弁 市では早期に医療・福祉機関と連携し、感染防止やワクチン接種の体制整備に取り組み、情報発信と予防行動の呼びかけを強化しました。観光・飲食業への支援として、時短営業要請と協力を並行して実施し、教育ではGIGAスクール構想に基づきICTを活用したオンライン学習などが広く普及しました。防災面では、避難所運営マニュアルを改定し、今後は行動計画の見直しや幅広い感染症に対応できる体制づくりを進めていく考えです。

質問 民間の起業・創業に対する支援の取り組み状況およびその成果についてお尋ねします。

答弁 平成22年度から起業支援事業として実施しているビジネスコンテストは、平成27年度から創業部門などを追加し、令和2年度以降は実務的なビジネスプラン審査会へと移行、22件の事業に起業化補助金を交付しました。また、起業に向けて課題や悩みを解決す

るための相談会を毎月行うほか、起業セミナーも開催しています。

質問 今冬の十日町雪まつりは、天候にも恵まれ、多くの来場者で賑わいましたが、今回の成果と今後の課題についてお尋ねします。

答弁 2日間とも好天に恵まれ、来場者数は5万8千人と多くの方に来場いただきました。目玉である雪の芸術作品も、各地域や団体の皆様による迫力ある力作が並びました。新しい雪まつりは成長過程にあることから、関係者が知恵を出し合い、イベントを発展させていくことが重要と考えています。



JR特別列車



雪像ガンダム



楽しい雪像



にぎわい広場



明石の湯、リニューアル前後の検証

中林寛暁 議員



質問 ①令和5年12月のリニューアルオープンから令和6年3月までは市直営での運営、その後令和6年4月からNPO法人へ運営業務を委託し現在に至りますが、リニューアル前の運営状況と、リニューアル後、指定管理委託後の入場者数の検証はどのように捉えているのか。②令和5年6月定例会にて附帯決議された「改修後誘客に努め、事業を継続すること」に対し、どのような取り組みがされてきたのか、またその効果は。

答弁 ①明石の湯の年間利用者数は、リニューアル前の令和元年度が11万5,390人、令和2年度は7万1,394人、令和3年度は7万4,225人、令和4年度は8万8,629人でした。令和5年度は工事のため4カ月間休館し、利用者数は2万5,730人でした。令和6年度は令和7年2月までに3万2,185人となっています。入場者数はコロナ禍で減少し、その後回復傾向にありましたが、設備の老朽化や入館料値上げの影響で伸び悩んでいる状況です。今後、他施設の事例を参考にしながら、誘客促進に努めていきます。②市では補正予算により運営継続のための改修工事と経営改

善に取り組みました。老朽化したボイラーを高効率化し、省エネ化と作業の効率化により維持管理コストの縮減に努め、新たな利用者層獲得のため、エントランス周辺の空間を改修しました。今年度は大地の芸術祭と連携し誘客に取り組み、パスポート割引の利用率は全体の24%に達し、相乗効果を得ることができました。今後も引き続きアンケートなどから利用者の声を伺い、サービス向上を図るとともに、維持管理コストの見直しを徹底し、特色ある温泉施設として運営に努めます。



リニューアル直後のエントランスと入口



国際化の推進について

星名 大輔 議員



質問 外国人・日本人関係なく同じ市民として、道で会えば挨拶を交わし、地域行事に参加する、そんな多文化共生のまちづくりを目指してほしい。
①外国人の状況と今後の見込み②事業者の外国人材受入を支援する考え③外国人観光客の状況と受入促進に向けた取り組み④多文化共生に向けた取り組みの現状と今後⑤国際交流の現状と今後についてお伺いします。

答弁 ①令和7年1月末現在、市内の外国人は396人で、人口の0.8%を占めています。令和4年度以降、東南アジアから労働目的の20代の外国人が増えており、今後その傾向が加速するものと見込んでいます。②人口減少による人材不足が課題となっていることから、受け入れ企業や仲介業者にヒアリングを行い、企業向けの新たな支援策を検討しています。③外国人観光客の状況は、令和5年度は来訪者数8万3333人、宿泊者数4,351人、令和6年度は1月末時点で来訪者数11万1,697人、宿泊者数5,626人です。受入促進として、令和2年11月に文化観光推進法に基づく地域計画の認定を受け、日本遺産や大地の芸術祭を積極的に発信しており、文化観光

が産業の柱の1つとして成長することを目指しています。④外国人に配慮し、市の窓口には通訳システムを、市のホームページには、自動翻訳機能を搭載しております。また、昨年開催した大地の運動会では、多国籍の方々との地域交流を行い、多文化共生の一步となりました。今後も外国人が地域活性化に大きな力を発揮するものと考えます。⑤イタリア・コモ市やクロアチアなどとは民間レベルでも交流が続いています。市民の国際交流に対する理解は深まってきていると感じており、交流がより一層活性化することを期待しています。



中学生が制作したイタリア・コモ市との姉妹都市締結50周年記念ロゴマーク



JR東日本信濃川発電所の水利権更新と中学校再編について

山家 悠平 議員



質問 令和7年6月に更新予定のJR東日本信濃川発電所の水利権について、データセンター誘致、新幹線チケット配布など市民のメリットとなることをJR東日本へ要望できないか。

答弁 データセンターの誘致につきましても、地域の雇用創出や経済活性化につながるものと認識しており、地域の発展にとって重要な施策の一つであると考えます。今後も将来にわたり相互に発展できるような具体的な誘致等の施策があるかどうか協議していきまします。なお、新幹線チケットの配布については、市およびJR東日本にとってもメリットのあるものではないので実現は厳しいと考えます。

質問 中学校再編について、中学校の生徒会などを通じて再編、理想の中学校のあり方について考えてもらう討論会を開いてはどうか。

答弁 学校の再編など特定の課題については、生徒たちが事前学習により前提条件を理解しておく必要があります。また、議論の過程や結果にプレッシャーを感じることもあります。生徒の本分を考えれば、まずは学校の各教科をしつかり学ぶこと、心身の成長を促すこととなります。よって、大人が子ども



十日町の中学校の将来を子どもに考えてもらおう (AIで画像を作成)

もたちのことを考え結論を出すことが重要であると考えます。生徒たちには、方向性が見えた段階で理想的で学びを深められる学校について考えてもらいたいと思います。

質問 AIを使うなどの特色ある教育について市の見解は。

答弁 AIの活用は、学習の幅が広がる、教職員の負担軽減につながる等の利点がある一方で、AIが導き出したままの回答を用いる等、子どもが思考することを回避してしまうことが懸念されます。今後のAI技術の動向を注視しながら、活用を推進していきます。



十日町市の将来について

小嶋 武夫 議員



質問 「農業も基幹産業の一つ」である市長もよく発言されており、私も間違いのないと思います。しかし、農業の現状を見ると、後継者を育てることができない経営状況の農家が多いと思われる。魚沼産コシヒカリは当市のブランドであり、次世代に継承していくことが重要です。十日町市に生まれ育ち、骨を埋めることができても、たと思えるような十日町市にしたいのですが、市長の考えを伺います。

答弁 農業は国土保全や食料安全保障などの国策により、他の産業に比べて手厚い支援がなされていると考えています。また、ビジネスチャンスという観点では、未開拓の分野があるのではないかと感じています。市の農業の状況としては、平成17年の合併以降の農家は6,200戸でしたが、現在は3,900戸と4割減少しました。一方で、認定農業者数とその耕作面積は2倍と大きく増加しました。これは積極的なほ場整備や、各地域での農業従事者の法人化や経営規模の拡大による成果と捉えています。特に市町村合併当時21だった農業生産法人は直近で52法人と大きく増加しています。今後は、こうした法人への農地の集積と集約を推

進し、基盤整備やスマート農業による生産性の向上、コスト削減の取り組みが重要になると考えます。なお、水稲においては、仮渡金を始めとした米価格の上昇により、令和4年から農業産出額は増加に転じており、今後も高い水準が維持されるものと捉えています。また、新たな担い手として、地域おこし協力隊の卒業生などが就農し、米のブランド化や6次産業化にチャレンジしながら、地域づくりに取り組んでいる方が増えています。そのような自ら頑張る農業者をサポートすることが市の大きな役割の一つと認識しています。



農業も市の基幹産業の1つ



関口市政四期十六年三事業の当初目的とその成果について

滝沢 貞親 議員



質問 関口市長の四期目が今年四月に終了します。これまで一期目議員として、一般質問を欠かさず行ってきまして、そして今回が最後の十六回目となります。そこで以下に示す三事業について、各事業における当初の目的と、ここまでこれらを行ってきたの成果について質問します。

① 「中心市街地活性化」事業について
② 「大地の芸術祭」事業について
③ 「地域おこし協力隊」事業について

答弁 ①暮らす人、訪れる人、活動する人を増やすことを目標に、民間事業者の皆様と共に取り組み、アップルとおかまちや、いこて、子育て支援施設を整備しました。また、分じろうや十じろうを整備し、とおか市や高校生が主体となるイベント等を開催しています。文化芸術の発表等の場として、段十ろうを整備し、まちなかへの利便性向上のため、立体駐車場も整備しました。今後も継続的に賑わい創出に取り組んでいきます。②大地の芸術祭は、市民の誇りや新たなチャレンジ精神が育まれ、地域おこし協力隊のスムーズな受け入れや外部応援団からのふるさと納税の増加などにつながりました。芸術祭は国や世界からも注目され、

地方創生や関係人口の創出、移住、定住者の増加など、成果が現れていることから、市の重要な政策の1つと実感しています。③平成21年度の事業導入から105人の隊員が活動し、退任後の市内定住者は63人、定住率は73.3%と高い水準になっています。これは(二社)里山プロジェクトの充実した支援等によるものであり、ふるさとづくり大賞の団体表彰、総務大臣賞も受賞しています。今後も地域おこし協力隊を積極的に配置し、この地域に活力を生み出す人材を増やしていくことが重要であると考えています。

関口市政4期16年総括





子どもまんなか社会を めざして

嶋村真友子 議員



質問 ① ことも計画についてどのような市民へ周知するのか。② HPだけではなく紙媒体での周知もお願いしたい。

答弁 ① 市のホームページに掲載するとともに、計画書を関係者や関係施設に送付し、公民館や児童センター、子育て支援センターなどに配置する予定です。また、家庭や学校、地域などさまざまな場を通じてこの計画の周知にも努めます。なお、計画の要点をまとめたダイジェスト版の作成やことも向けに、こどもが理解しやすいこども版を作成し、ホームページに掲載する予定です。② 紙媒体での周知については、今後、どのような場所に配置するかある程度方向性を決めた上で、どのような媒体がいいのかも併せて検討します。

質問 ① ファミサポの提供会員66人のうち活動している人数は。② 活動できていない人たちの要因は。③ のぼり旗など立て、積極的にPRしては。

答弁 ① 66人のうち、この5年間で活動した方は22人です。② 要因としては、保護者は、最初に預かりをした提供会員に2回目以降も依頼する傾向があります。なお、最初の依頼時にはそれぞれ活動がない方にも声をかけています。が、仕事で都合がつかない場合が多く、



基本理念
「安心してこどもを産み育てられるまち」
基本目標1 こども・若者が心身ともに健やかに成長することができる 【こども・若者の権利】
基本目標2 家庭の子育て力が高まり、安心して子育てができる 【子育て家庭への支援】
基本目標3 地域の特徴と活力を生かし、こども・若者と家庭を支える 【地域社会の役割】
【十日町市こども計画】より

次回の依頼が回ってこないという状況があります。今後は工夫と改善を行い、多くの提供会員が活動に参加できるように取り組みます。③ 事業の概要や内容が分かるように紙媒体やSNSの活用により周知を図りたいと考えています。

質問 市長からこどもたちへ一言。
答弁 こどもたちに一番伝えたいのは、自分を大事にしてほしいということだと思います。世の中で思いどおりにいかないこともあるかもしれませんが、支えてくれる応援団がいることを忘れないで、自分を大切に生きてほしいと思います。



女性農業者の活躍、集落協定、 消雪対策について

水落 静子 議員



質問 十日町市の女性農業者の活躍に対する見解と今後の期待感について市長の見解を問う。

答弁 当市における女性農業者の活躍として、昨年末にグッドデザイン・ベスト100を受賞したウーマンファーマーズジャパンや、サッカーと農業を両立させたFC越後妻有、県認定の農村地域生活アドバイザーによる地元食材を使った伝統料理の継承、個人の認定農業者としてネギ生産に奮闘する方々など女性の活躍が数多く見られます。また、昨年12月には市内で初めて「農業女性フォーラムin越後妻有」が開催され、約190人の幅広い年代の女性農業者が参加し、活動報告や意見交換が行われました。今後は法人化や認定農業者、プロフェッショナルな農業経営が進む中で、女性を核とした組織化が進展し、それが大きな原動力になると期待しています。女性ならではの感性で農産物の価値を見極め、6次産業の発展への動きが十日町でも見え始めており、女性農業者の活躍を応援するのが行政としての役割だと

と考えています。
質問 集落協定の今季終了に伴う農業者への恩恵、取り組みの成果を問う。

答弁 中山間地域等直接支払制度の集落協定は、本年度で5期25年の節目を迎えます。この制度を活用する集落では、水路や農道の維持管理、農業機械の共同利用、荒廃農地の抑止、鳥獣害対策などに取り組み、農業生産活動を下支えし大きな成果を上げています。また、保全管理された農地は、洪水防止や水源涵養などの多面的機能を持ち、市全体の環境保全にも貢献しています。
質問 大雪による消雪対策を問う。
答弁 記録的な大雪であったため、異常豪雪時の消雪事業として、農道や苗床などの消雪支援を検討しています。





新たな中学校統合の進め方について

富井春美 議員



質問 令和6年12月から行われている中学校の学区再編協議研究会について伺います。①研究会の進め方はどのようになるか。②10年後1校にする「発言」について教育委員会は了承するか。③新しい学校づくりの協議を行うブロックに地域が参加しないことは認められるのか。

答弁 ①研究会は、各地域において具体的な方向性を決めるために同じ情報による共通認識を持つていただくことを目的に開催しています。これを基に新しい学校づくりの協議を行うブロックの設定などについて、各地域において検討を進めていただきたいと思います。②今後の議論になります。研究会を通して「10年後に2〜3校にし、その20年後に1校に再編するのであれば、最初から1校で検討してはどうか」という意見が寄せられています。こうした意見や子どもたちにとって望ましい形を中心に考慮し、今後の協議・検討を進めていくべきだと考えています。③参加しないと地域で判断されればやむを得ないと考えます。しかし、あり方検討委員会は、1学年3学級以上の確保が子どもたちの学びにとってふさわしく、学びを保障できると提言して

【地域コミュニティの核としての性格への配慮】

小・中学校は児童生徒の教育のための施設であるだけでなく、各地域のコミュニティの核としての性格を有することが多く、防災、保育、地域の交流の場等、様々な機能を併せ持っています。また、学校教育は地域の未来の担い手である子供たちを育む営みでもあり、まちづくりの在り方と密接不可分であるという性格も持っています。

このため、学校規模の適正化や適正配置の具体的な検討については、行政が一方向的に進める性格のものでないことは言うまでもありません。各市町村においては、上記のような学校が持つ多様な機能にも留意し、学校教育の直接の受益者である児童生徒の保護者や将来の受益者である就学前の子供の保護者の声を重視しつつ、地域住民の十分な理解と協力を得るなど「地域とともにある学校づくり」の視点を踏まえた丁寧な議論を行うことが望まれる。(富井春美が原文の強調点に下線を加筆)

【公立小学校・中学校の適正規模・適正配置に関する手引】

～少子化に対応した活力ある学校づくりに向けて～ 文部科学省より

答弁 市民、保護者、学識経験者などから意見をいただいたり、アンケート調査なども実施し、議論を進めていきます。地域や保護者の皆様と対話しながら、より良い形にしていきたいと考えています。

います。地域から選出いただいた委員皆さんの総意としての提言でもあることから、「子どもたちの将来を考え、結論を出していただきたい」と考えています。**質問** 文科省の手引きでは小中学校は「地域コミュニティの核」とし、「まちづくりの在り方と密接不可分」とあるが、その議論はいかがか。



各自主防災組織での運営と高齢者世帯等への支援について

高橋俊一 議員



質問 多くの災害に遭った本市での自主防災組織支援策をお尋ねします。①訓練や近隣組織との連携、リーダー育成について②発災時の国県市、避難者等と自主防災組織との連携について

答弁 ①毎年春のリーダー研修会で組織の役割や市の支援策、防災情報の活用等を紹介してきました。今後は防災知識や技能を持つ人を増やし、組織を活性化する仕組みづくりを進め、その実効性を高めるための活動支援や地区防災計画づくりを支援します。②市が国や自治体等との連携調整を担うことで自主防災組織の負担軽減に努めます。

質問 不登校特例校「学びの多様化学校」の開校の可能性について伺う。

答弁 学びの多様化学校の設置については、現段階において、これを急ぐ状況には至っていないと判断をしています。今後も県内外の動向や取り組みの成果などを注視しながら、研究を深めていきます。

質問 八〇代の親が五〇代のひきこもりを世話する「80・50」において、最終的な支援をどのように考えているか。
答弁 ひきこもりサポート事業として市民団体と連携して社会参加や就業支援、居場所相談など様々な面からサポ

●高齢者世帯の平均所得金額の内訳

- ・稼働所得（労働で得た所得）：80.3万円（25.2%）
- ・公的年金、恩給：199.9万円（62.8%）
- ・財産所得：17.2万円（5.4%）
- ・年金以外の社会保険給付金：1.8万円（0.6%）
- ・仕送り、企業年金、個人年金、その他の所得：19.0万円（6%）

出典：厚生労働省「2022(令和4)年 国民生活基礎調査の概況」

ートを行っていただきます。また、生活困窮に陥る可能性があれば、社会福祉協議会などが窓口となり、関係機関とともに包括的な支援につなげていきます。**質問** 増加が確実な、同居を含めた「高齢者のみ世帯」に対する、生活・医療・介護等の支援について伺う。
答弁 民生委員や地域包括支援センターなどの関係機関と情報を共有し、健康面や経済面での支援を行っています。また、同居に不安のある方には共同住宅のあっせんや、緊急通報装置の活用を勧めており、引き続き関係者間での連携を強化し対応していきます。



松代病院無床診療所化は撤回を望む

滝沢 繁 議員



質問 県立松代病院を無床診療所化にすることは納得できません。山間地、高齢化、豪雪地であることから、昨年「新潟県病院経営強化プラン」で県立病院として残すことを位置付けたにも関わらず、1年経たないうちに手のひらを返すように変更されるのは理解できません。私も頑張りますが、市長には先頭に立ってご尽力いただきたいです。市長の考えをお聞きします。

が病院局長に署名簿を提出するなど、周辺地域に大変頼りにされている病院であることは間違いありません。こうした中、県の方針が短期間で次々に変わることは理解ができません。一昨年、リハビリ機能の強化のために改築に多くの費用をかけたにもかかわらず、方針が変更されるのは、どうなのかという思いです。県の方針が変わるのであれば、議員の皆さんがこの問題についてこれまで頑張ってきていただいたように、私どもも県に対して簡単に方針変更しないよう訴えていきます。

答弁 県の方針について知事から直接伺ったことはありませんが、県立病院の赤字に一般会計から多額の繰入れがあり、財政が厳しい状況にあることは理解しています。新潟県は財政面で黄色信号が灯っていると言われており、知事の県立病院改革への思いは非常に強いものがあると感じています。そのため、県立病院の改革を進め、赤字を出さないよう、財政面から大きな要請があるものと考えています。合併前にも松代病院に対する廃止の話がありましたが、それを押し返し、リハビリ機能を強化し、入院機能も維持しながらここまで来ました。過去には松代病院の存続を求め、松代地域、松之山地域、上越市の大島地区に、柏崎市の高柳地区等の皆さまも加わり、地域の代表者



松代病院は地域の宝



人口減少に負けない持続可能な地域づくりに向けて

鈴木和雄 議員



質問 総合計画審議会の講演会で「地域のものを地域で使う」ことが言われました。5市町村が合併して20年。若い世代がそれぞれの地域で子育てできる環境づくりをどう進めるのか。

答弁 子育ての負担や不安などを和らげ、こどもの成長に応じた支援が重要です。市では周産期医療体制の維持、保育サービスや病児保育の提供、子育て支援センターやファミリーサポートセンターを運営し、子育て環境の充実に努めています。また、地域と結びつきの強い小学校では地域の皆様との共同活動が幅広く行われています。今後各地域で連携を深め、安心して子育てできる環境づくりが肝要と考えます。

けでなく、清津川や河岸段丘などの魅力ある空間に、民間事業者の方から地域全体を観光資源として活用していただくことで、未来につながる好循環を生み出せるものと考えます。

質問 清津峡步道トンネルに大勢の入坑者があるにもかかわらず足下が元気を失っています。どう対策を取るのか。

答弁 市営バス化に伴い、土日運行を開始した路線もありましたが、利用者が少なく、平日のみの運行に見直した路線もあります。また、運行管理者や運転手の適切な休暇取得による安全運行の確保も重要です。土日の運行については、引き続き利用実態やニーズを把握し、路線ごとに検討を進めます。

答弁 清津峡のにぎわいが新たなビジネスチャンスを生み出し、地域の宿泊施設や飲食店の開設、地元製品の販売などが進んでいます。さらに、インフラも整備され、活用の基盤が整ってきています。今後は、トンネル内や温泉街だ



津南町での商店街活性化への取り組み「まちなかオープンスペースだんだん」

1月臨時議会

議会をPick-Up!

令和7年第1回臨時議会
会期 1月30日(1日間)
審議の結果は、12ページに掲載

1月の臨時会は、市長提出議案4件、議会提出議案1件を審議しました。

Pick-Up 01 一般会計補正予算(第10・11号)

(主な事業および内容)

●灯油購入費等助成事業
物価高騰に直面する低所得世帯(住民税非課税世帯)に対し、冬季間の採暖に必要な灯油等の購入費を助成します。



●キナーレ管理経費(回廊棟)
令和4年4月に越後妻有里山現代美術館Mone E Tで発生した作品損壊事故について、新潟市教育委員会との間で損害賠償の示談協議が合意に至ったので、補償費用を計上します。

Pick-Up 02 条例の見直し

(主な内容)

●十日町市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

議員報酬について、約30年間据え置かれており全国や県下の20市の状況

などを考慮し、令和7年5月1日から引き上げる条例改正案が、議員提出議案として上程されました。
質疑、討論の後、起立採決を行い、賛成多数で可決しました。

【討論者および討論順】
富井春美議員(反対)
星名大輔議員(賛成)

詳細は、第1回臨時会録画録音中継をご覧ください。



議会をPick-Up!

3月定例会

令和7年第1回定例会
会期 3月4日〜21日(18日間)
審議の結果は、12ページから13ページに掲載

3月の定例会は、市長提出議案43件、議会提出議案3件を審議しました。

Pick-Up 01 一般会計補正予算(第12〜14号)

(主な事業および内容)

●災害救助支援事業

令和7年2月9日の災害救助法の適用を受け、積雪等の状況から生命・身体に危害が及ぶおそれがあり、住家の屋根の雪下ろしや玄関回りなどの除排雪が必要な要援護世帯に対し、除排雪救助を行います。

●避難所環境改善事業

指定避難所に簡易ベツド、間仕切りテントを整備し、避難所の生活環境の改善を図ります。

詳細は、第1回臨時会録画録音中継をご覧ください。



●私立保育所等運営事業

私立保育園・こども園の運営委託料等の人件費分について、令和6年度人事院勧告による国家公務員の給与改定に準じて改正され、令和6年4月に遡及して適用されることから、支給不足分について事業費を追加します。

●十日町地域消雪パイプ更新事業

老朽化した消雪パイプ用の井戸や送散水管の更新を行い、冬期間の安全かつ円滑な道路交通の確保を図ります。

Pick-Up 02 条例の制定・見直し

(主な内容)

●十日町市市民センター条例制定

公民館を地域活動の拠点として、住民および団体等が利用しやすい「市民センター(令和7年度は水沢地区市民センター)」とするため、条例を制定します。



水沢地区市民センター

●十日町市営バス条例の一部改正

子育て世帯の通学に係る金銭的負担の軽減および公共交通の利用促進を図るため、令和7年度から高校生年代の市営バス使用料を、無料化(全額減免)するための条例改正を行います。

Pick-Up 03 計画の策定

●十日町市東田尻・西田尻辺地総合整備計画の策定

東田尻・西田尻地区の水道水の安定供給を目的とした送水管整備事業の実施に当たり、財源として辺地債を活用することから、これに伴う辺地計画を策定します。

Pick-Up 04 契約の締結

●物品購入

中学校の教科書が改訂されることから、教員の教材研究や指導力向上、授業内容の充実を図るため、中学校教師用指導書を購入します。



1月臨時会 議決結果

議案番号等	件名	付託委員会	採決状況	議決結果
市長提出議案	1 専決処分の承認について（令和6年度十日町市一般会計補正予算（第10号））	—	全員賛成	承認
	2 十日町市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について	—	賛成多数	原案可決
	3 和解について	—	賛成多数	原案可決
	4 令和6年度十日町市一般会計補正予算（第11号）について	—	賛成多数	原案可決
議会提出議案	1 十日町市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定について	—	賛成多数	原案可決

3月定例会 議決結果

議案番号等	件名	付託委員会	採決状況	議決結果
市長提出議案	5 専決処分の承認について（令和6年度十日町市一般会計補正予算（第12号））	—	全員賛成	承認
	6 物品購入契約の締結について	—	全員賛成	原案可決
	7 十日町市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例制定について	—	全員賛成	原案可決
	8 情報通信技術の活用による行政手続等に係る関係者の利便性の向上並びに行政運営の簡素化及び効率化を図るためのデジタル社会形成基本法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例制定について	—	全員賛成	原案可決
	9 十日町市営バス条例の一部を改正する条例制定について	総務文教	全員賛成	原案可決
	10 十日町市職員の勤務時間、休暇等に関する条例等の一部を改正する条例制定について	総務文教	全員賛成	原案可決
	11 十日町市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について	総務文教	全員賛成	原案可決
	12 十日町市職員の寒冷手当に関する条例の一部を改正する条例制定について	総務文教	全員賛成	原案可決
	13 十日町市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例制定について	総務文教	全員賛成	原案可決
	14 十日町市会計年度任用職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例制定について	総務文教	全員賛成	原案可決
	15 十日町市市民センター条例制定について	総務文教	全員賛成	原案可決
	16 十日町市文化財資料収蔵庫条例の一部を改正する条例制定について	総務文教	全員賛成	原案可決
	17 十日町市教育相談センター条例の一部を改正する条例制定について	総務文教	全員賛成	原案可決
	18 十日町市十日町地域ニューにいがた里創プランステージ条例の一部を改正する条例制定について	産業建設	賛成多数	原案可決
	19 南魚沼市道路線の変更の承諾について	産業建設	全員賛成	原案可決
	20 十日町市河川法施行条例の一部を改正する条例制定について	産業建設	全員賛成	原案可決
	21 十日町市公共物管理条例の一部を改正する条例制定について	産業建設	全員賛成	原案可決
	22 十日町市東田尻・西田尻辺地総合整備計画の策定について	産業建設	全員賛成	原案可決
	23 十日町市下水道条例の一部を改正する条例制定について	産業建設	全員賛成	原案可決
	24 十日町市公営企業の設置等に関する条例の一部を改正する条例制定について	産業建設	全員賛成	原案可決
	25 十日町市布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例制定について	産業建設	全員賛成	原案可決
	26 十日町市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	厚生	全員賛成	原案可決
	27 十日町市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	厚生	全員賛成	原案可決
	28 令和6年度十日町市一般会計補正予算（第13号）について	—	全員賛成	原案可決
	29 令和6年度十日町市国民健康保険特別会計補正予算（第4号）について	—	全員賛成	原案可決
	30 令和6年度十日町市国民健康保険診療所特別会計補正予算（第5号）について	—	全員賛成	原案可決
	31 令和6年度十日町市訪問看護事業特別会計補正予算（第4号）について	—	全員賛成	原案可決
	32 令和6年度十日町市後期高齢者医療特別会計補正予算（第5号）について	—	全員賛成	原案可決
	33 令和6年度十日町市介護保険特別会計補正予算（第5号）について	—	全員賛成	原案可決
	34 令和6年度十日町市水道事業会計補正予算（第5号）について	—	全員賛成	原案可決
	35 令和6年度十日町市簡易水道事業会計補正予算（第5号）について	—	全員賛成	原案可決
	36 令和6年度十日町市下水道事業会計補正予算（第4号）について	—	全員賛成	原案可決
	37 令和7年度十日町市一般会計予算について	予算審査特別	賛成多数	原案可決
	38 令和7年度十日町市国民健康保険特別会計予算について	予算審査特別	全員賛成	原案可決
	39 令和7年度十日町市国民健康保険診療所特別会計予算について	予算審査特別	全員賛成	原案可決
	40 令和7年度十日町市訪問看護事業特別会計予算について	予算審査特別	全員賛成	原案可決
	41 令和7年度十日町市後期高齢者医療特別会計予算について	予算審査特別	賛成多数	原案可決
	42 令和7年度十日町市介護保険特別会計予算について	予算審査特別	賛成多数	原案可決
	43 令和7年度十日町市松之山温泉配湯事業特別会計予算について	予算審査特別	全員賛成	原案可決

■常任委員会の構成について

議員定数が19人となったことを踏まえ、一委員会当たりの委員数を増やして、多面的・多角的な視点の確保に主眼を置いた2常任委員会制を推す意見が出されたものの、今後も、社会経済情勢の変化や市民ニーズの多様化への確に対応していくためには、適切な役割分担のもと専門的な審査を可能とする現行の3常任委員会制を継続すべきという結論に至りました。

■議員報酬について

市民感情を考慮し、議員報酬額は引き上げるべきではないという意見が出されたものの、約30年間据え置かれていた現在の額は改定することが必要であり、その基準は、市の課長級の給料表である5級の中位とすべきことと、議長・副議長の報酬月額については、これまでと同様の加算割合を基準とすべきであるとの意見が多数を占める結果となりました。また、委員長職への報酬加算は不要であること、市三役の給料や非常勤特別職の報酬についても検討を望む意見が出されました。

出されました。
政務活動費の情報公開について

て

市民に対する説明責任を果たし、政務活動費の使途の適正性を確保するため、現在作成している関係書類をホームページで公開することを決定し、これに伴い、提出時期や報告書の様式変更を行うことを決定しました。

■議会ICT化について

議会関係資料のペーパーレス化により環境負荷の低減に資するとともに、緊急時における議会機能維持、議員活動、議会関係業務の効率化を図るため、タブレット端末を導入し、会議支援ソフトおよびグループウェアを活用して議会機能の充実・強化を図っていくべきとの結論に至りました。タブレット端末の整備は、令和7年度中に行うものとし、円滑な導入のため必要な操作研修を行い、試行期間を経た後、令和8年度から本格運用を開始することを確認しました。



今号の表紙は

松代高校写真部

の作品です。



松代高校写真部です。昨年度は乗り物好きな新生を迎えて、マイペースに部活動を楽しんでいました。今年度もみんなで一緒にカメラを勉強していきます。

ラジオ「FMとおかまち」(78.3MHz)で
一般質問を放送しています!

一般質問をした当日、夕方7時から放送
していますので、ぜひお聴きください。

インターネットで
本会議の様子を配信しています!



本会議の様態を生中継・録画中継
しています。ホームページからア
クセスしてください。スマートフォン、
タブレットでも!

十日町市議会

検索



市議会の詳しい情報は、
十日町市議会のホームページを
ご覧ください



あとがき

▼光輝ける季節に新しい紙面を
お届けできる幸せ。ご協力に感
謝です。(関口立之)

▼2年間、ありがとうございました。
編集委員との会議が財産
です。(富井春美)

▼貴重な経験をさせていただきました。
ありがとうございました。感謝申
上げます。(山口康司)

▼2年間、編集委員として務め
させていただきました。感謝申
上げます。(中林寛暁)

(山家悠平)

▼毎回、表紙写真の選定が楽し
みでした。展示会もできてよか
かったです。(嶋村真友子)

【お問い合わせ】

十日町市議会事務局

〒948-8501
十日町市千歳町3丁目3番地
市役所本庁舎3階

電話 025-757-3119
FAX 025-757-5999